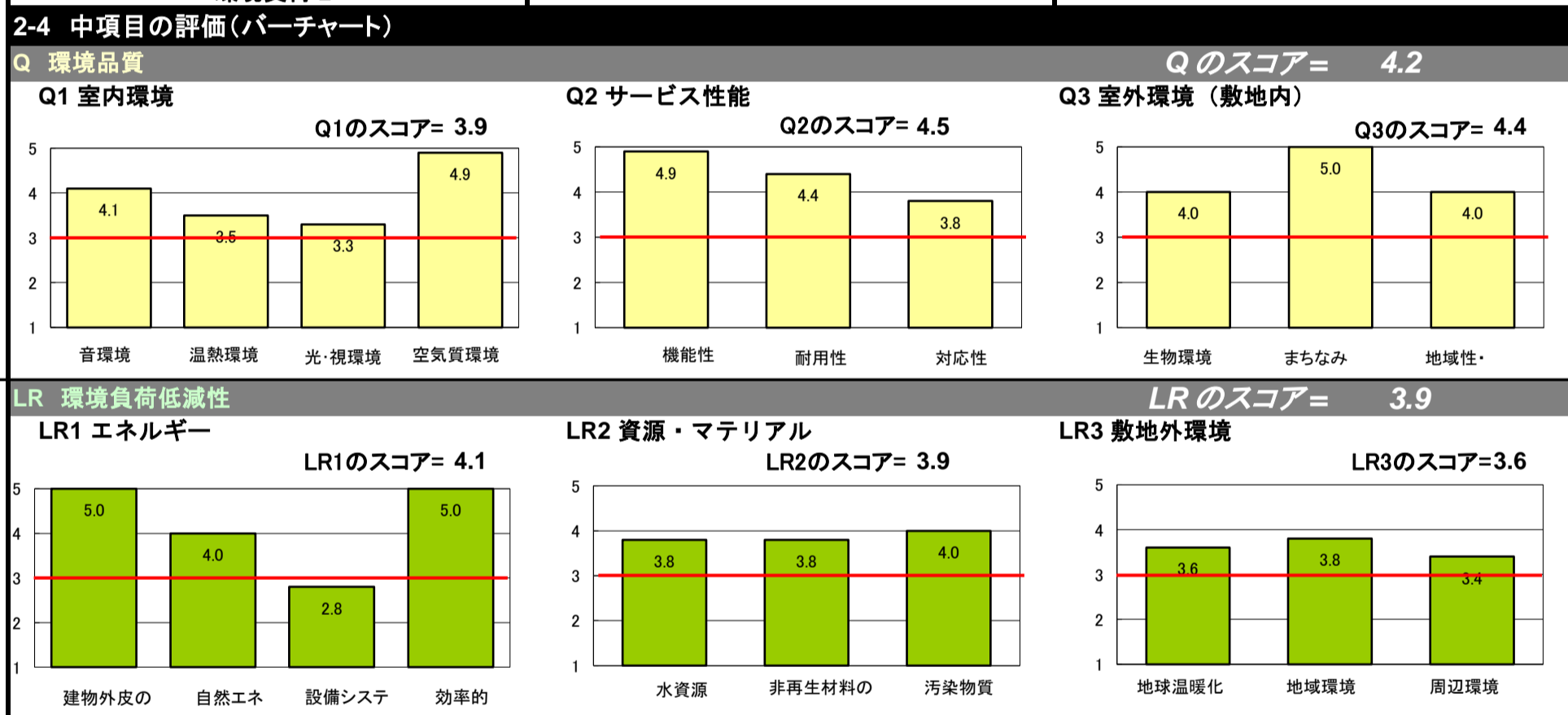
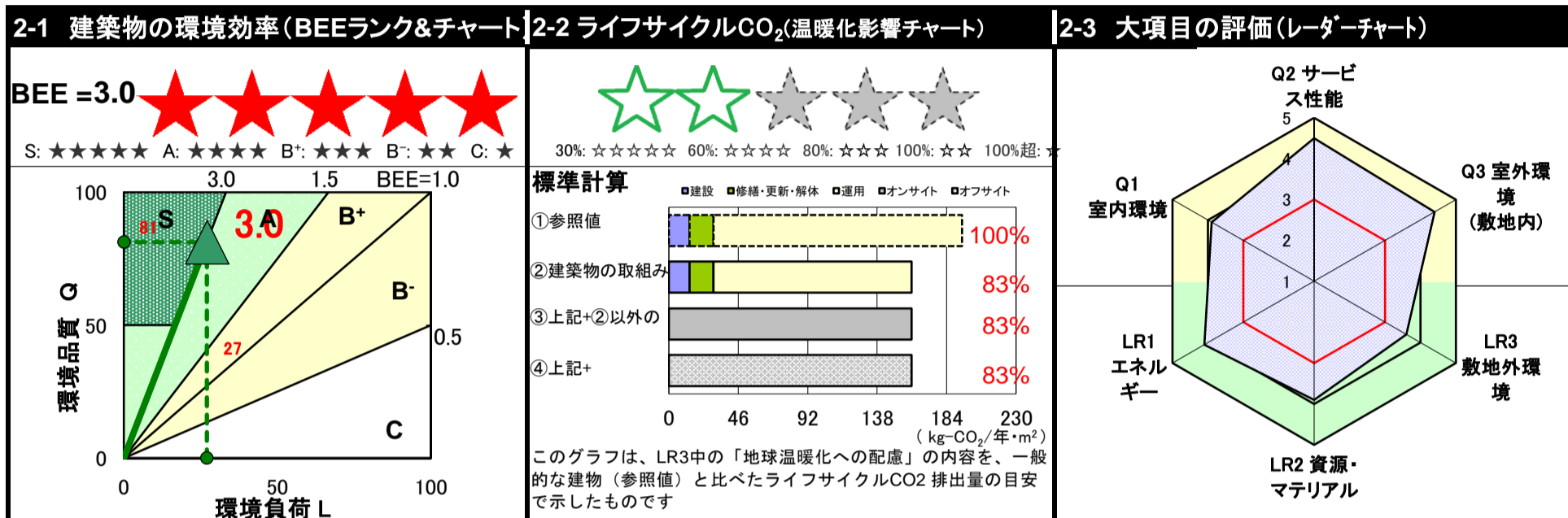


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	半田市立半田病院新病院	階数	地下1階地上5階
建設地	愛知県半田市横山町192番始め27筆	構造	SRC造
用途地域	-	平均居住人員	1,370 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年10月 予定	評価の実施日	2022年8月29日
敷地面積	39,616 m ²	作成者	江口 信
建築面積	11,332 m ²	確認日	2022年8月29日
延床面積	44,315 m ²	確認者	長谷川 秀訓



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.6</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>4.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>20.8 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.7 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.9</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>2.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>市内工場の陶板を内装仕上げに採用している。</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		独自基準		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
								評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質													4.2
Q1 室内環境													3.9
1 音環境													4.1
1.1 室内騒音レベル		0.1	4.2	0.15	4.1	4.1	1.00						
1.2 遮音		0.4	4.0	0.40		3.9	0.40						
1 開口部遮音性能			-	-		5.0	0.30						
2 界壁遮音性能			4.0	1.00		4.0	0.30						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-		3.0	0.20						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-		3.0	0.20						
1.3 吸音			3.0	0.20		3.0	0.20						
2 温熱環境													3.5
2.1 室温制御		0.3	3.5	0.35	3.5	3.5	1.00						
1 室温		0.5	3.8	0.50	3.8	3.8	0.50						
2 外皮性能		3.0	3.0	0.38		3.0	0.57						
3 ゾーン別制御性		3.0	5.0	0.25		5.0	0.43						
2.2 湿度制御		3.0	4.0	0.38		-	-						
2.3 空調方式		3.0	5.0	0.20		5.0	0.20						
		3.0	2.0	0.30		2.0	0.30						
3 光・視環境													3.3
3.1 昼光利用		0.2	3.2	0.25	4.4	4.4	1.00						
1 昼光率		0.4	1.8	0.43	4.2	4.2	0.30						
2 方位別開口		3.0	1.0	0.60		5.0	0.60						
3 昼光利用設備		3.0	3.0	0.40		3.0	0.40						
3.2 グレア対策			-	-	5.0	5.0	0.30						
1 昼光制御		5.0	-	-		5.0	1.00						
3.3 照度		3.0	3.0	0.21		3.0	0.15						
3.4 照明制御		3.0	5.0	0.36		5.0	0.25						
4 空気質環境													4.9
4.1 発生源対策		0.2	5.0	0.25	4.7	4.7	1.00						
1 化学汚染物質		0.5	5.0	0.50	5.0	5.0	0.63						
4.2 換気		0.3	5.0	0.30	4.3	4.3	0.38						
1 換気量		3.0	5.0	0.50		5.0	0.33						
2 自然換気性能		3.0	-	-		3.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	5.0	0.50		5.0	0.33						
4.3 運用管理		0.2	5.0	0.20		-	-						
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-		-	-						
2 喫煙の制御		3.0	5.0	1.00		-	-						
Q2 サービス性能													4.5
1 機能性													4.9
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	5.0	0.40	4.8	4.8	1.00						
1 広さ・収納性		0.4	5.0	0.40	5.0	5.0	0.60						
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	-		5.0	1.00						
3 バリアフリー計画		3.0	-	-		-	-						
1.2 心理性・快適性		0.3	5.0	0.30	4.5	4.5	0.40						
1 広さ感・景観(天井高)		3.0	-	-		4.0	0.50						
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-		-	-						
3 内装計画		3.0	5.0	1.00		5.0	0.50						
1.3 維持管理		0.3	5.0	0.30		-	-						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	5.0	0.50		-	-						
2 維持管理用機能の確保			5.0	0.50		-	-						
2 耐用性・信頼性													4.4
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.3	4.4	0.31		-	-						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	5.0	0.48		-	-						
2 免震・制震・制振性能		3.0	5.0	0.80		-	-						
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	3.6	0.33		-	-						
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23		-	-						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			5.0	0.23		-	-						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09		-	-						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			5.0	0.08		-	-						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.15		-	-						
6 主要設備機器の更新必要間隔			2.0	0.23		-	-						
2.4 信頼性		0.1	4.6	0.19		-	-						
1 空調・換気設備		3.0	5.0	0.20		-	-						
2 給排水・衛生設備		3.0	5.0	0.20		-	-						
3 電気設備		3.0	5.0	0.20		-	-						
4 機械・配管支持方法		3.0	4.0	0.20		-	-						
5 通信・情報設備		3.0	4.0	0.20		-	-						

3 対応性・更新性			0.2	3.9	0.29	3.6	3.6	1.00	3.8
3.1 空間のゆとり			0.3	4.6	0.31	4.2	4.2	0.50	
1	階高のゆとり		-	5.0	0.60	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	4.0	0.40	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			0.3	4.1	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②	-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	5.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	4.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30	-	-	-	4.4
1	生物環境の保全と創出	独自③	-	4.0	0.30	-	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	独自④	-	5.0	0.40	-	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	4.0	0.30	-	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	独自④	-	5.0	0.50	-	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.73	3.0	5.0	0.30	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		ナイトパーズ	3.0	4.0	0.20	-	-	4.0
3	設備システムの高効率化		BEI=0.84	3.0	2.8	0.30	-	-	2.8
4 効率的運用			0.2	5.0	0.20	-	-	-	5.0
集合住宅以外の評価			1.0	5.0	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	5.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	5.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	3.9
1 水資源保護			0.1	3.8	0.15	-	-	-	3.8
1.1	節水		3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.6	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	4.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	3.8	0.63	-	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		-	3.0	0.07	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	3.0	0.24	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	②	3.0	5.0	0.20	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	独自	3.0	3.0	0.05	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	独自	3.0	5.0	0.24	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	4.0	0.22	-	-	-	4.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	5.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.6	0.68	-	-	-	
1	消火剤		-	4.0	0.33	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	4.0	0.33	-	-	-	
3	冷媒		3.0	3.0	0.33	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		①	-	3.6	0.33	-	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			0.3	3.8	0.33	-	-	-	3.8
2.1	大気汚染防止		-	3.0	0.25	-	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		-	4.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	4.2	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自	-	4.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	-	5.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		-	5.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.4	0.33	-	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自	-	3.0	1.00	-	-	-	
2	振動	独自	-	-	-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			0.4	3.3	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制		-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		-	4.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	4.7	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	5.0	0.70	-	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	4.0	0.30	-	-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				3.9
Q2-2	耐震性・信頼性	4.4	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.9	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				4.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	4.0	0.09	外構緑化:20.8%/建物緑化:0.7%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	2.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	1.0	-	市内工場の陶板を内装仕上げに採用している。

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・半田市の街並みに配慮した外観計画。 ・敷地周辺環境に配慮した設備計画。
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・光庭を計画。 ・病棟階に日射抑制を兼ねた点検バルコニーを計画。
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・免震構造を採用。 ・配管の耐震措置、空調設備の系統分けを計画。 ・重要設備系の受変電設備の二重化、発電機-UPSの設置。 ・通信手段の多様化、浸水回避、防災無線・サーバー用UPSの設置。
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内に可能な限りの緑化を計画。 ・段差を解消し利用者の安全に配慮。
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・LCGMツールを活用し、設備システムの効率を検討。 ・太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの活用。
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水を雑排水に利用。
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水貯留槽を設け、雨水流出抑制による周辺への負担を軽減。
その他	